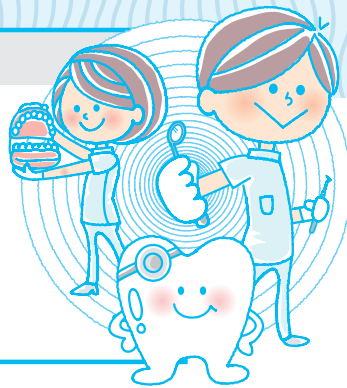


# 歯科医療 最前線

vol.7 最終回

〔チーム医療／医歯連携 編〕



患者さんを治すのは、医師一人ではなく、チームみんなの力です。

## チーム一丸となって 患者さんを支えます。

歯科医院へ行くと、歯科医師のほかに複数のスタッフがいますね。歯科診療は歯科医師を中心とした「チーム医療」で行われています。その中でアシストをしているのが歯科衛生士。歯科医師の治療の一部を補助したり、予防的処置、歯のクリーニングやセルフケアの指導などを担当します。患者さんとの心のコミュニケーションに気を配ることも重要な役割です。また、歯科医師の指示のもと、天然の歯に代わる技工物を製作する歯科技工士もチームの重要なスタッフ。患者さん一人ひとりの歯、歯ぐきの状態に合わせ、精密な入れ歯やさし歯、セラミックや金属の冠（クラウン）、矯正装置などを作り、ミクロの技術を発揮しています。

どちらも歯科医師に欠かせないパートナー。歯科医療の進歩と共に、信頼で結ばれたチームワークは重要度を増しています。

## 医師同士のつながりが重要。 他の医療分野とも連携します。

勤務医として経験を積み、いずれは独立開業を。これは歯科医師の一つの目標です。開業し歯科医師が自分一人だけの場合、相談相手、また代診を頼みたいときなど開業医同士で協力し合わなければならない場面が必ずあります。そのとき大きな力となるのが母校のネットワーク。歯科医師の約75%は私立歯科大学・歯学部出身で、各大学とも多数の同窓生が活躍し、長い間つながれてきた強くて太い絆があります。また「女性歯科医師の会」のように、研修や情報交換を目的とした組織や活動を通じて、新しいつながりも生まれることでしょう。

他分野とのつながりでは、超高齢社会を迎え、全身的な病気をもつ高齢者の増加で一般医科の主治医との医療連携の強化が必要となっています。また糖尿病、歯周病

の患者さんに対する歯科医師と療養指導医の連携、平成22年には、歯科医師と管理栄養士・栄養士が連携・協働をはかる「健康づくりのための食育推進共同宣言」も始まりました。

患者さんに合わせて  
チームが組まれる。  
心強いね。



## TOPICS

### 医療系総合大学の強みを生かし、 本学歯学部では、チーム医療で活躍する 歯科医師を養成しています。

本学は「保健・医療・福祉の連携と統合」の理念のもとで保健・医療・福祉の様々な専門職能人を養成しています。歯科医師の養成課程が単科大学に多いなか、他学部存在は貴重な教育資源です。学部の枠にとらわれない学際的カリキュラム、他学部の教員や学生との交流、すべてが将来のチーム医療の一員としてのたしかな基礎となります。治療の視点に加え支援という視点、専門性に加え患者さんの全体像をとらえる広い視野も自然に鍛えられます。また、全学部で卒業生が全国、海外に広げてきたネットワークが在学中、卒業後も様々な面でバックアップとなります。本学で、多彩なつながりを結びながら、チーム医療で専門性を発揮できる歯科医師をめざしてください。



歯学部長 有末 眞